

第3章 今後のまちづくりの方向性

中京区では、中京区基本計画(第2期)において、公募で決定した「響きあう 人・まち・文化 中京区～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～」をまちづくりの目標(キャッチフレーズ)に掲げ、このまちに住まい・集うひとびとがふれあい、交流し、地域の資源を生かしたまちづくりに取り組むなかで、新しい出会いや新たな価値を創造することをめざしてきました。その結果、中京区基本計画(第2期)の計画期間の10年間には、中京マチビトCafé[★]に延べ2,735人が集うとともに、そこからまちづくり支援事業(補助金交付)139本をはじめ多くの区民の自主的な活動が生まれるなど、大きくまちづくりが進展しています。

しかし、この間も、中京区を取り巻く状況は、急速に変化しています。近年、とくに問題視されている地球温暖化に起因し、気候変動に伴って頻発化・激甚化する自然災害や、新型コロナウイルス感染症をはじめとするさまざまな感染症対策など、国や地域を問わず、克服すべき人類共通の課題から社会全体がよりよく立ち直るには、「SDGs[★]」の達成をめざすとともに、都市の「レジリエンス^{※1}」を高めることも重要になってきています。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、従来までの社会システムや産業構造、ひとびとの生活様式や行動、意識は大きな変革を求められており、わたしたちは、ICT(情報通信技術)やIoT、AI等といった最先端技術を取り込みながら、新たな社会のあり方や社会的価値の創造に向かって歩み始めています。さらに、急速なグローバル化の進展は、ヒトやモノ、情報等が国境を越えて行き来する時代を到来させましたが、一方で、自然災害の頻発や健康被害、食糧危機など、わたしたちの生活を脅かす地球温暖化の加速化や新型コロナウイルスをはじめとする世界的な感染症の拡大を完全に抑制することを困難にしています。

これから先の社会やまちづくりにおいては、こうした脅威に対して、柔軟に対応していくことが求められるだけでなく、これから先の社会やまちがどう変わっていくのかについて、区民の皆さんとともに考え、それらに備えることが欠かせません。

将来像1



コミュニティの活性化と交流の促進

- 自治会・町内会をはじめとした地域活動の担い手を増やすなど、地域コミュニティの活性化と交流の促進に取り組んでいきます。
- 誰一人孤立させない地域社会をめざし、すべてのひとがお互いを尊重し、認め合い、共生できるまちづくりを進めていきます。
- 地域全体で子育てを応援するなど、若い世代が安心して子育てできるまちづくりを推進していきます。

まちづくりの目標

響きあう 人・ま
～わたしが創る ふれあ

文化

将来像2

地域個性の継承と創造

まち

将来像3

次世代につながるしと環境の創出

- 災害や犯罪、感染症等の日常生活を脅かすあらゆる脅威に対応すべく、「地域力」、「区民力」を結集・発揮した安心・安全なまちづくりを進めていきます。
- 2050年までの二酸化炭素排出量「正味ゼロ」に向け、さらなる省エネ、ごみ減量の普及はもとより、エシカル消費（倫理的消費）^{※1}やRE100^{※2}など、区民ひとりひとりが生活を見直し、環境負荷を低減させる持続可能なライフスタイルへの転換に取り組んでいきます。

ち・文化 中京区

いとにぎわいのまち～

- 地域ごとの豊富な歴史的・文化的資源を守り、次世代へ継承するとともに、IoT等の最先端技術も積極的に活用しながら地域の個性を生かしたまちづくりに取り組んでいきます。
- 企業や大学など、多様な主体が活躍できる環境づくりを進め、スタートアップ・エコシステム^{※3}を形成することで、社会課題の解決や新たな価値の創造によるにぎわいづくりに取り組んでいきます。

※1 「レジリエンス」 震災や人口減少等のさまざまな危機を乗り越え、バネのように粘り強くなって元に戻りながら、以前よりもよりよく立ち直る状態を意味するもの

※2 「RE100」 事業者等が事業運営に使用する電力を100%再生可能エネルギーで賄うことをめざす取組の総称

※3 「スタートアップ・エコシステム」 複数のスタートアップ企業や、大企業、投資家等の多様な関係者が結びつき、循環しながら広く共存共栄していくしくみ

第3期となる本計画においては、これまでの取組のよい点を継承していくだけでなく、こうした中京区を取り巻く状況が急速に変化していることを再認識し、新しい社会像や価値の創造に向かって、区民の皆さんとともに歩んでいくことが重要となります。

そこで、地球温暖化や人口減少、新型コロナウイルス感染症をはじめとするさまざまな危機と対峙する新たな時代背景において、重要なキーワードである「SDGs」や「レジリエンス」、さらには厳しい財政状況も踏まえ、3つの「めざすべき将来像」と、これらを実現させるための具体策として、「目標実現に向けた戦略」となる7つの「まちづくり戦略」を設定します。

そして、計画の具体化に当たっては、各戦略を個々に進めるだけではなく、互いに関連させ、一体となった推進をめざします。



中京マチビトCafé

平成23年から中京区で実施しているワークショップ。中京区のまちづくりに関心があれば、だれでも参加でき、自由に語り合い交流できる場で、まちづくり活動の仲間集めや新たな活動グループの結成につながっている。

エシカル消費（倫理的消費）

消費者それぞれが社会課題の解決を考慮したり、そうした課題に取り組む事業者を応援しながら消費活動を行うこと

SDGs（持続可能な開発目標）

平成27（2015）年の国連サミットで採択された、令和12（2030）年までを期間とする国際目標。持続可能な世界を実現するための17のゴール・169のターゲットを定めたもの



中京区では、SDGsという世界共通のものさしで設定された目標を次期基本計画にも組み込み、各まちづくり戦略をSDGs項目と関連付けて、「誰一人孤立させない地域社会」をめざして取組を推進していきます。

まちづくりの課題

重点課題1

地域交流の促進

- 地域のつながりの希薄化
- 福祉的課題の複合化・深刻化
- 教育・子育てに対する意識の変革

重点課題2

文化とにぎわいの創出

- 地域文化の継承の危機
- にぎわいの継続に向けた社会変化への対応
- 産学公との連携と市民協働の拡充
- 社会課題解決に向けた企業活動との連携

重点課題3

持続可能なくらしの実践

- 迫りくる災害や感染症への備え
- 通りの復権と歩いて楽しいまちなかの創出
- 市民生活を最重視した持続可能な観光の模索
- 環境に配慮したライフスタイルの確立

めざすべき将来像

将来像1

人

コミュニティの活性化と
交流の促進

将来像2

文化

地域個性の継承と創造

将来像3

まち

次世代につなぐくらしと
環境の創出

戦略7

持続可能な
ライフスタイルの
継承・発展

P.35

戦略6

安心・安全に
住み続けられる
まちづくり

P.33

まちづくりの目標

響きあう 人・まち・文化 中京区

～わたしが創る ふれあいとにぎわいのまち～

戦略1

ポストコロナ社会に
対応した柔軟で開かれた
地域組織づくり

P.23

戦略2

だれもが互いに
認め合い、支え合える
コミュニティづくり

P.25

時代の潮流・喫緊の課題

SDGs
レジリエンス
世界的感染症
ICT社会
地球温暖化
人口減少
危機的な財政状況
etc..

戦略3

地域ぐるみでの
子育て環境の充実

P.27

戦略4

地域ごとの歴史文化を
生かした個性ある
まちづくり

P.29

戦略5

商い・ものづくり・学問の
つながりが生み出す
にぎわいづくり

P.31

